

銘傳大學九十一學年度二年制在職進修專班招生考試

第一節

日語讀本 試題

はじめに書いた二つの言葉はどんな関係にありますか、A-Cの言葉の組み合わせの中から、同じ関係を持つもの一つを選び、記号を書いてください。20%

- 1、暖かい—暑い
A：すべて—全部 B：うまい—へた C：うすぐらい—まっくら
- 2、くる—いらっしゃる
A：うつ—うたれる B：折る—折れる C：くれる—くださる
- 3、うそ—ほんとう
A：あるいは—または B：うら—おもて C：あわただしい—忙しい
- 4、しばる—ほどく
A：しめる—ぬれる B：あたる—あてる C：着る—ぬぐ
- 5、きのどく—かわいそう
A：おかしい—あたりまえ B：無理—可能 C：おもいがけない—意外
- 6、家具—たんす
A：住まい—アパート B：いす—テーブル C：まど—カーテン
- 7、いれる—はいる
A：かわいい—かわいがる B：かたい—かためる C：けす—きえる
- 8、チーム—メンバー
A：文字—かたかな B：欠点—短所 C：生産—消費
- 9、こさめ—あめ
A：みらい—しょうらい B：ただちに—すぐ C：欠ける—こわれる
- 10、こつこつ—努力する
A：めちやめちや—整う B：ぼんやり—あざやか C：ぐっすり—眠る

問題文の次にくるものとして最も適当なもの一つを選び、記号を書いてください。20%

- 1、「彼の話にはみんなで腹を抱えてしまったね。」
A：「ほんとうに失礼な話だったね。」
B：「あまり悲しい話で涙が出たよ。」
C：「ほんとうにおかしかった。」
- 2、「今日の先生の話は、耳が痛かったよ。」
A：「私も反省しなくてはいけないと思った。」
B：「今度はもっと後ろの席に座ろう。」
C：「あの先生はいつも同じ話を繰り返すからね。」
- 3、「彼の話をした時、彼女は顔色を変えたよ。」
A：「彼女はそういう話に興味がないんだよ。」
B：「とても、おどろいたんだろうね。」
C：「安心したんだと思うよ。」
- 4、「この子のピアノは筋がいい。」
A：「腕の筋肉が他の子よりずいぶん強いね。」
B：「ほんとうに音のいいピアノを持っているよ。」
C：「才能に恵まれているから、楽しみだ。」
- 5、「田中さんは気の早い人だね。」
A：「ああ、昨日少し説明しただけなのに、今日はもう全部分かっているんだから。」
B：「まったくだ。来年の夏休みの計画をもう立てているよ。」
C：「人の話をよく聞かないから、すぐ間違えるんだよ。」
- 6、「あの二人は瓜二つだね。」
A：「ほんとうに仲がよいですね。」
B：「他人とは思えませんね。」
C：「会うと必ずけんかですよ。」
- 7、「これからはお酒は控え目にしてくださいね。」
A：「はい、もう絶対飲みません。」
B：「はい、あまり飲まないようにします。」
C：「はい、強い酒は飲みません。」
- 8、「鈴木さんは英会話の勉強を始めたんだって。」「あの人のことだから、きっと三日坊主だろうね。」
A：「三日も続かない。」
B：「あっという間に上手になるんだろうね。」
C：「他のことを何もやらなくなるほど英会話に熱中するんじゃないかな。」
- 9、「今度の試験では山をかけてひどい結果になりました。」
A：「試験の日にちを間違えたんですね。」
B：「教科書のどの辺が試験に出ると思ったんですか。」
C：「採点を間違えるんなら、困りますね。」

本試題係両面印刷

- 10、「あの人は人見知りをするね。」
 A：「誰とでもすぐ親しくなれていいなあ。」
 B：「相手によっては一言もしゃべらないよ。」
 C：「知り合いがたくさんいるようだね。」

三、次の文の内容と筆者の立場について答えよ。6%

太陽と土、水、この自然の恵みのおかげで農業は成り立ってきました。しかし、これまでの農業はまさに自然任せ。たえず変動する気象条件や複雑な土壌の状態によって作柄が左右され、安定供給や能率の点で問題がありました。そこで誕生したのが、太陽を照明に、土を水耕液に、人をコンピュータに変え、植物の生育に必要なものをすべて人工的にコントロールする野菜工場・自動制御植物栽培システムです。すでに実用機はスーパーマーケットの一角に設けられ、サラダ菜、サニーレタスなど4品目がお客様の目の前で育て、収穫され、販売されています。

〔科学朝日〕1986年8月号

- 1、この文にかかれていたことは何か。
 A：コンピュータをコントロールして植物の育成が観察できるようになった。
 B：植物の生育を人工的にコントロールするシステムが実用化された。
 C：コンピュータを使って、絶えず変動する気象条件を観測して農業に役立てるようになった。
 D：スーパーマーケットをコンピュータで管理し、野菜を能率よく安定供給するシステムが実用化され始めた。
- 2、この文の筆者はどのような立場の人か。
 A：消費者の代表
 B：農業政策担当の行政側人間
 C：このシステムを開発した側の人間
 D：農家の人

四、次の文章を読んで後の問いに答えなさい。21%

日本の道の歴史を見ると、たとえば東海道のように、海沿いの都市を結ぶ道は、江戸時代になってから整備された「政治の道」とでもいうべき、わりに新しい道が多いです。(a)海と山の中を結ぶ道は、はるか遠い昔に作られた、山の人々と海の人々が、お互いに産物を交換しあっていた「くらしの道」でした。この道を通して、多くのものが海から山へ、そして山から海へ運ばれました。(b)その中で、もっとも大切なものが塩だったといえるでしょう。古くから開かれた、山と海を結ぶ道の多くが(c)「塩の道」と呼ばれたことから、塩が大切だったことがうかがえます。

日本では塩は海水からしか取れないので、当然、塩を作るところも海岸沿いにしかありません。(d)、塩は、自分たちの生命のささえともいえる大切なものでした。また、日本は山の多い国で、海と山を結ぶ道は、険しい道がほとんどでした。塩は、舟で海から川に入り、小さな舟に積みかえてさらに上流まで運ばれましたが、流れの急な川が多い日本では、さほど上流までは行けません。

中略

こうして運ばれた塩を、山に住む人々が、いかに大切にしていたかは、古くから残る風俗、風習の中にも(e)見ることが出来ます。たとえば、九州の山の中には、子供が生まれると塩売りに名づけ親になってもらうところがありました。苦勞して塩を運んでくる塩売りや山の人々は、商売の域をこえて、強いきずなで結ばれていたのです。

塩の道を通して、海から山に運ばれたものの中に、塩魚も多くありました。日本でも、塩は保存食を作るために使われ、塩魚はその代表的なものといえます。塩魚は山の人々が味わえる、数少ない海の幸として貴重なものですが、ほかにも(f)大切な役目がありました。稲わらの俵で塩を運んだ時代では、雨にぬれればすぐに溶け出してしまう塩を遠くまで運ぶことは、大変な仕事だったのです。その点、塩魚は溶けませんから塩魚を食べれば塩も補給できたというわけです。

こうして人々は、塩をはじめ、道が運ばれてくるさまざまなものを通して、お互いのくらしをささえあっていました。塩の道は、海の文化と山の文化をつなぎ、人々の心を結んだ道でもあったのです。

(半田 昌之「塩の道」『人間の知恵24』)

- () 1. (a)に入れる言葉として最も適当なものはどれか。
 A：一方 B：すると C：だから D：やはり
- () 2. (b)「その」とはどんなものか。
 A：海でとれた最も大切な塩 B：山でとれた最も大切なもの
 C：人々の生活に必要なもの D：海でとれた生活に必要なもの
- () 3. (c)「塩の道」と呼ばれたのはなぜか。
 A：塩を運ぶために作られた道だったから B：くらしの道と塩の道は同じ道だったから
 C：海のものや山へ運ぶための道だったから D：塩が山へ運ばれる代表的なものだから
- () 4. (d)に入れる最も適当なものはどれか。
 A：海岸沿いにくらす人々にとって B：山にくらす多くの人々にとって
 C：日本にくらす多くの人々にとって D：どんなところでくらす人々にも
- () 5. どんなことを(e)「見ることが出来る」と言っているのか。
 A：塩を山の人々が大切にしてきたこと B：古くから残る風俗や風習
 C：塩売りに名付け親になってもらうこと D：苦勞して塩を運んでくる塩売り
- () 6. どのようなことが(f)「大切な役目」と言っているのか。
 A：海の幸として貴重なものであること B：保存食として代表的なものであること
 C：稲わらの俵で塩を運ぶということ D：山の人々が塩分を補給できること

本試題係両面印刷

日語讀本 試題 (限用答案本作答)

- () 7. 内容に最も合っているものを選び。
- A: 「政治の道」と「くらしの道」と「塩の道」があった
 - B: 塩の道は、海の人々が山の人々のために作った道である。
 - C: 山の人々は塩を運んでくれる海の人々にささえられていた。
 - D: 山の人々と海の人々は互いにささえあっていた。

五、次の文章を読んで後の問いに答えなさい。15%

底の植え込みの虫がひどくなった。殺虫剤をまこうとして取り出してきた噴霧器が、ちょっと動いたかと思うと、すぐ故障する。いっそのこと買いかえてしまおうと専門店へ行く。はじめは前と似たものにするつもりだったが、水鉄砲式の珍しいものがあるから、ためらうことなく、それに決めた。かえってさっそくためしてみるに、まるで子供のときの遊びをしているようで、まことに楽しい。

子供のころ、暑い季節になると、よく水鉄砲をこしらえて遊んだ。すこしでも遠くへ飛ばすのが手柄である。今の子供は水鉄砲というものを知るまい。知ってはいても、作ったりはしない。およそ、おもちゃというおもちゃは、すべて店から買ってくるものと決めている。そのおもちゃ屋にも水鉄砲など売っているわけがない。あっても、町中では水を飛ばすところがない。へたをすればよその人にかかって、怒られるだろう。

このごろのおもちゃは実にきれいだ。精巧である。値も高い。立派な商品なのである。かつては、“おもちゃのようだ”といえ、チャチでいい加減なものごとであった。おもちゃの時計は、動く機械のついていない、ただ見た目だけの時計で、針さえ動かないシロモノだったのである。

ところが、いま、子供が持っている時計は本物である。きちんと時を刻む。時間など知る必要もない子供がつけている腕時計は、(1)、おもちゃであるが、それが本物というから恐れ入る。

ある調査によると、45.9%の子供が本物の腕時計を持っているそうである。それなら二人に一人くらいになるが、ホントかと思う。

我が国の時計産業が世界一発達したおかげで、おもちゃなみの安い時計が出来るようになったということかもしれない。

時計よりもいっそう精巧な機械、ハイテクおもちゃがめざましく増えた。テレビゲーム、パソコンの遊びである。大人は子供が機械につよいとって感心する。そういえば、テレビそのものも、たいへん有力なおもちゃだ。といえないこともない。

いま、子供がもっと熱中するのは、こういうハイテクおもちゃのようである。かつての子供が、ゼンマイをまいて走らせる電車に興じていたのを考えると、夢のようである。

おもちゃには、友達と一緒に遊ぶものもないわけではないが、(2)、自分だけの世界にとじこもって、他とのふれあいを拒むおもちゃが多い。この点は今の昔も変わりがなく、水鉄砲なども孤独な遊びである。みんなと遊ぶのなら、そもそもおもちゃなど必要としない。おもちゃには元来、社会性が乏しいのである。

子供同士の遊びが少なくなった現在において、おもちゃ遊びが増えるのは、是非もないことであろう。

註：ゼンマイ 發條

1. 「手柄」とは、この場合どういうことを言っているか。
A: 手段 B: 値段 C: 自慢 D: 品質
 2. (1) に入る適当な言葉は何か。
A: なぜなら B: まさに C: きっと D: したがって
 3. 夢のようとはどういうことか。
A: ゼンマイの電車は夢を見ているように昔のこと
B: かつてのおもちゃには夢があったこと
C: おもちゃが信じられないほど進歩を遂げたこと
D: 今のおもちゃには夢がないこと
 4. (2) に入る適当な言葉は何か。
A: どれかといえば B: どこかといえば C: どんなかといえば D: どちらかといえば
 5. おもちゃには元来、社会性が乏しいとは、どういうことか。
A: おもちゃは本来個性を育てるものだ。
B: おもちゃはもともと学校で遊ぶものではない。
C: おもちゃは人との付き合い方を教えてくれない。
D: おもちゃで遊んだら、人間関係がうまくいく。
- 六、以下のことわざの意味を中国語で説明しなさい。18%
- 1、豚に真珠
 - 2、成せば成る
 - 3、石橋をたたいて渡る
 - 4、口に蜜あり腹に剣あり
 - 5、知らぬが仏
 - 6、短気は損気

試題完